

# 岡山県津山市および香川県坂出市 瀬戸内カレッジ 2021

(申請タイプ)



## 【地域の基礎データ】

人口：99,937 人（津山市／令和 2 年 10 月 1 日現在）

51,556 人（坂出市／令和 3 年 10 月 1 日現在）

高齢化率：31.1%（津山市／令和 2 年 10 月 1 日現在）

35.1%（坂出市／令和 3 年 10 月 1 日現在）

産業：製造業 など（津山市）

製造業 など（坂出市）

## 【活動の基本情報】

参加学生数：16 名（1 回生：7 名、2 回生：5 名、3 回生：4 名）

活動期間：令和 3 年 7 月～

担当教員：木川剛志

## 1. 活動実施の経緯

JR 西日本と JR 四国、瀬戸内地域の自治体と大学が協力して行う産官学提携事業「瀬戸内カレッジ」に参加しました。各地域の課題を踏まえて、若者視点を活用した地域活性化、旅行需要の喚起、学生の成長機会の創出を目指すプロジェクトです。和歌山大学が担当した市町村は、香川県坂出市と岡山県津山市です。

## 2. 活動の内容

参加学生は香川県坂出市と岡山県津山市の二つの班に分けられました。津山班は 9 月 21 日から 23 日、坂出班は 11 月 22～23 日に現地実習を行いました。そして他大学と合同でオンラインで 7 月 10 日にキックオフミーティング、10 月 24 日に中間発表会、12 月 10 日に最終発表会を行いました。本来は坂出班も 9 月の現地実習の予定でしたが、新型コロナウイルスの拡大による緊急事態宣言があり延期。実習は難航しました。

## 3. 活動を通じて

津山班は歴史溢れる城下町で、現地実習では伝統工芸品や津山ならではの食材の可能性を学びました。その上で、提案する旅ではターゲットをあえて”学生”とし、一步踏み込んだ「大人旅」と「スローツーリズム」を提案しました。坂出班は、特に離島の魅力を学び、それを踏まえて新たな坂出ブランドの構築をテーマに提案しました。核家族化が進み、故郷を持たない新しい世代にとって魅力的な”故郷”となるためにどうすべきか。“第 2 の故郷を探す旅”を提案しました。

賞を取ることはできませんでしたが、豊かな学びがありました。

#### 4. 成果物（ポスター）



2021年

# JRせとうちカレッジ

香川県坂出市・岡山県津山市

### せとうちカレッジとは

JR西日本・自治体・大学が連携し、学生ならではの視点を生かした地域活性化をねらう瀬戸内エリアの魅力発見プロジェクト。現地でのフィールドワークを含めた一連の取り組みを通して地域住民の方々の力もお借りしながら、地元の課題解決に向けたアイデアの提案や地元PR活動を展開します。瀬戸内カレッジで生まれた旅行プランやアイデアが、自治体の判断により実現した例もあります。

### 【坂出市の魅力と課題】

歴史上の人物とのつながりの深い「いにしへの町」。坂出市は、自然・歴史・芸術の魅力に加え、自治体と地元食料生との関係が深く、市が一体となって坂出市の発信に取り組みしているところも魅力です。一方で、お土産産路が未発達である点や近過型観光地となっている点、観光資源が点在している点は課題であると実証を繰り返してまいりました。

### 津山市

### 【津山市の魅力と課題】

桜の綺麗な津山城や2つの単独津地区 大自然の中のグランピング施設など観光地の充実した津山市ですが、観光客の滞在期間が短いことやSNSでの情報発信不足が課題です。

### 【提案内容】

ターゲットを成人を迎えた大学生に設定し、ゆったり大人旅をコンセプトにした観光プランをチームで考えました。まずは重伝達地区を歩くだけで「映える」「まちなか博物館」や名物・浴種しよらあとの昼食会「MyしよらArt」など津山市の知名度向上をねらうプラン。そして既存のグランピング施設でのビアガーデン開催という形で大自然を活かした、夜型コンテンツで着地型観光の推進をねらうプランなどを提案し、津山市の課題解決を目指します。

### 【活動を終えて】

津山市は2泊3日の実習では時間が足りないほど魅力のある街でした。私たちの提案で、少しでも津山の課題が解決されより多くの人に津山の魅力が伝わってほしいです。

### 坂出市

### 【提案内容】

私たちは「さかいブランド」と呼ばれるお土産の裾野拡大に向け市内各地での販売を実施し、「さかい〜で商品」を認定することを提案しました。これらは観光客に対して「さかいブランド」との接触回数を増やすことで知名度と反復購入につながると考えます。また、点在する観光地を線でつなぎ滞在を促すため、一人旅をしたい大学生をターゲットに「五感（五感）を満たす旅・第二の故郷を旅す旅」をチームで考えました。

### 【活動を終えて】

坂出市の課題解決に向けた提案の中で、「歴史・起点・深層・連携・深化」の5つの感性をチームで考えたのは観光を学ぶ私たちだからこそ出来たことだと感じ、この学びを今後も坂出市に活かしていきたいと思えます。

### スケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
キックオフミーティング 担当自治体決定	事前学習 オンラインでの	現地実習 津山市・坂出市	実習の成果を もとにした ミーティング	実習（坂出市） 最終報告会 に向けた ミーティング	最終報告会	成果報告会 に向けた作業	成果報告会